

第4回高齢者外出支援策に関するあり方懇話会

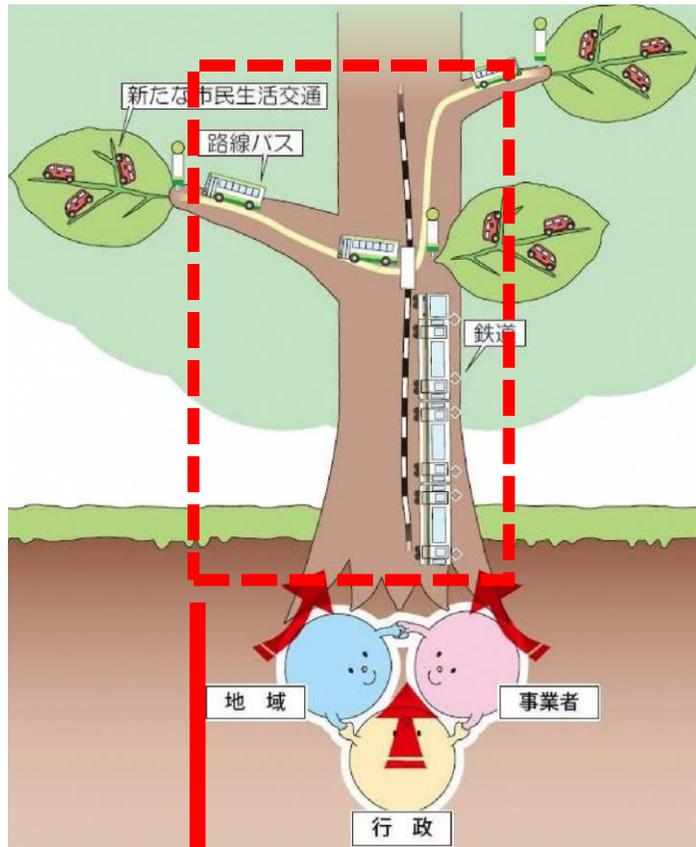
資料

1. 今後のスケジュール確認

回	内容	日時
第1回懇話会	高齢者外出支援策の検討・懇話会設置の趣旨について	令和5年7月6日 10:00～11:30
第2回懇話会	交通ネットワーク・運賃助成制度の課題・見直し視点について	令和5年9月15日 10:00～11:30
第3回懇話会	運賃助成制度見直し（案）について	令和5年11月16日 10:00～11:30
第4回懇話会	運賃助成制度見直し（案）について	令和5年12月27日 14:00～15:30
市民意見交換会	運賃助成制度見直し（案）について	令和6年2月23日(金・祝) 10:00～11:30
第5回懇話会	高齢者外出支援策に関するあり方懇話会とりまとめ	令和6年3月

2. 目指す将来像

<地域公共交通計画>



三田市地域公共交通活性化協議会
(学識者／交通事業者／交通関係団体／県市道
路管理者／福祉団体／市民)

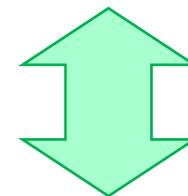
三田市地域公共交通計画

※現在策定中

人がつながるみんなで育てる持続可能な公共交通

公共交通の維持

ラストワンマイル



相互連携

高齢者外出支援策に関するあり方懇話会

高齢者の外出のきっかけになるような
公共交通を利用しやすい制度の見直し

利便性向上

2. 高齢者外出支援ロードマップ（高齢者運賃助成制度）

外出促進・生きがいづくり

Point

- 趣味等（ex.カラオケ等）、目的との連動したきっかけづくり
- 外出頻度の増大



割引証(7,500円/年)を好きなモードで組み合わせて利用

現行

R5

見直し

R10

見直し

目指す姿

市内移動を担うあらゆる交通モードを気軽に利用できる環境

市内移動の充実

[選択制]

バス	市内定額運賃制
タクシー	相乗り制度
鉄道	企画乗車券

- 地域利用差の解消
- 移動の負担軽減

※ 概ね5年を目途に
歳出状況等も踏まえ見直し検討

Point

- キャッシュレス化（ICカード・QR決済等）
- ICT技術の活用
- サブスクリプション（定額乗り放題）等

3. 高齢者運賃助成制度の見直し素案 (バス)

市内定額乗車制度

- 市内で乗降する場合は、定額で利用できる (正規運賃との差額を負担)

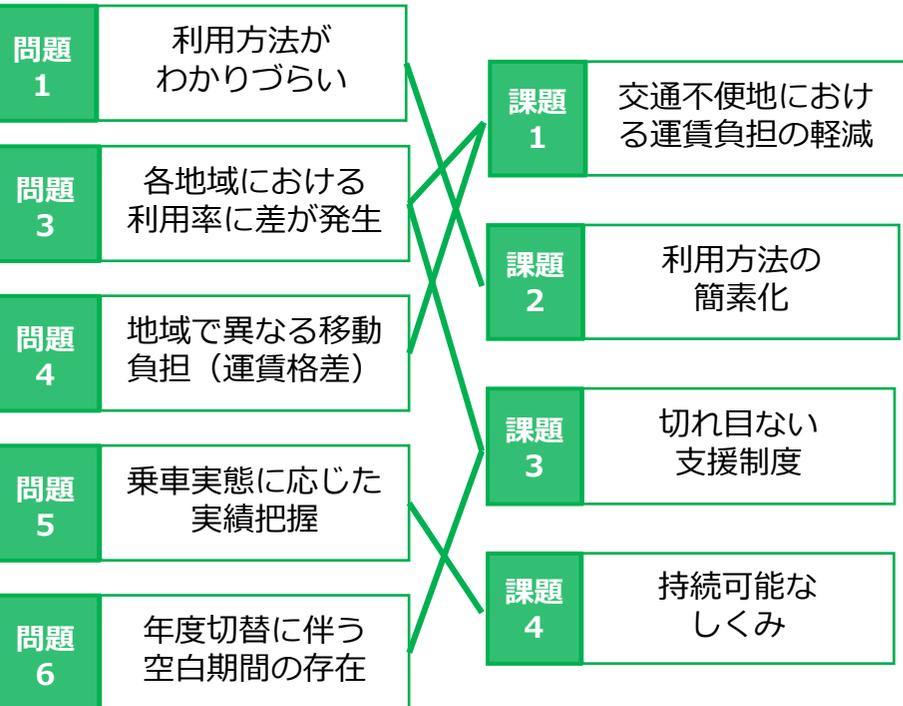
(特徴)

- 紙式乗車券からICカード型へ
- どの地域でも同じ負担額 (1乗車200円~250円程度)

例えば



例えば



3. 高齢者運賃助成制度の見直し素案 (タクシー)



相乗りタクシー制度

- 自宅からスーパーマーケットや病院等ドア to ドアで移動 (目的地限定)
- 市内で乗降の場合、1乗車につき最大1,500円を支払う (正規運賃との差額は市が負担)
- 複数人での乗車を推奨

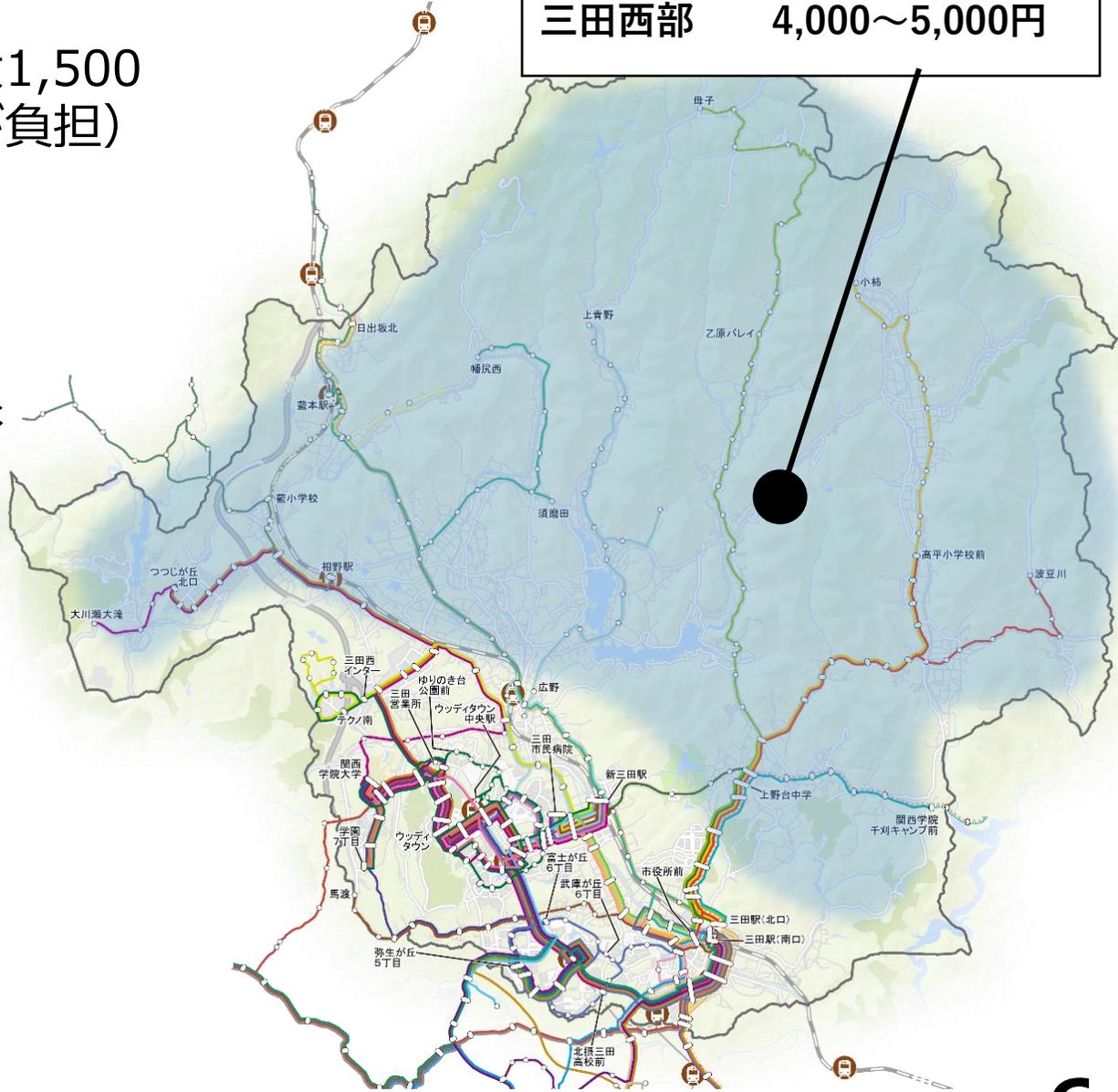
- (特徴)
- バス便数が少ないエリアや鉄道が通っていないエリア (交通不便地) を対象
 - マイナンバーカードの活用も視野に (利用実績把握の管理・利用回数制限)

問題 1	利用方法がわかりづらい	課題 1	交通不便地における運賃負担の軽減
問題 2	利用できる公共交通機関が限定	課題 2	利用方法の簡素化
問題 3	各地域における利用率に差が発生	課題 3	切れ目ない支援制度
問題 5	乗車実態に応じた実績把握	課題 4	持続可能なしくみ

例えば

タクシー利用時の負担

三田市北部 4,000~6,000円
三田西部 4,000~5,000円





相乗りタクシー制度

支援イメージ (案)

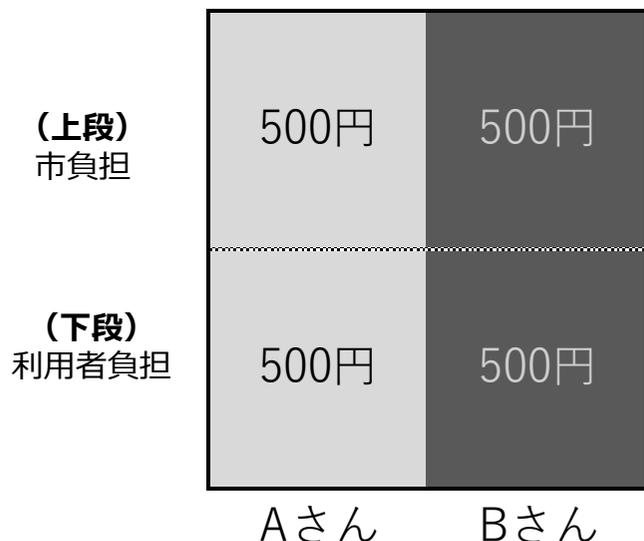
- 自宅からスーパーマーケットや病院等 ドア to ドアで移動 (目的地限定)
- 市内で乗降の場合、1 乗車につき最大 1,500円を支払う (正規運賃との差額は市が負担)
- 複数人での乗車を推奨

制度の枠組み (1人あたり)

1. 自己負担割合 (額) 1/2 (上限額1,500円)
2. 市支援額 運賃 - 自己負担額
3. 利用エリア 市内限定・目的地限定
4. 利用回数 要検討

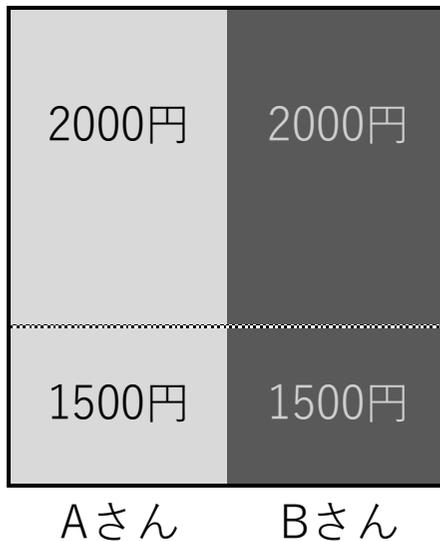
事例①

- ・ 2人乗車
- ・ タクシー運賃2,000円の場合



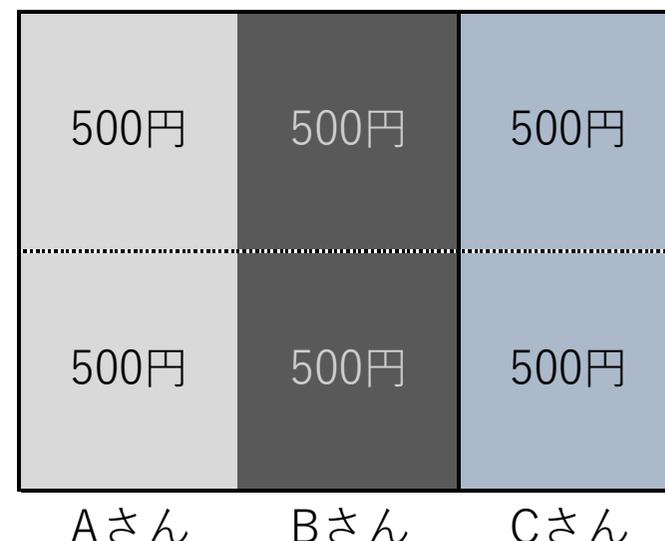
事例②

- ・ 2人乗車
- ・ タクシー運賃7,000円の場合



事例③

- ・ 3人乗車
- ・ タクシー運賃3,000円の場合





相乗りタクシー制度

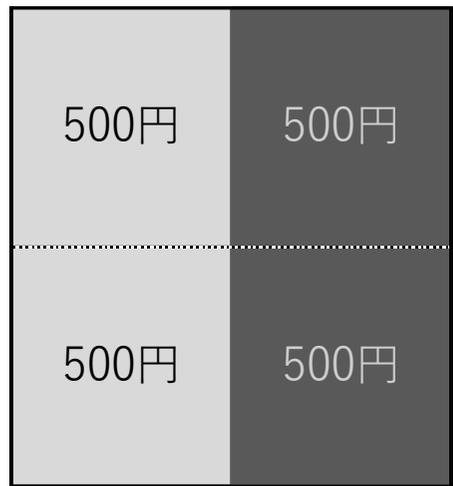
利用イメージ

<利用例>

運賃2,000円

1人1,000円のところ、市から半額支援のため1人500円

(上段)
市負担



(下段)
利用者負担

Aさん

Bさん

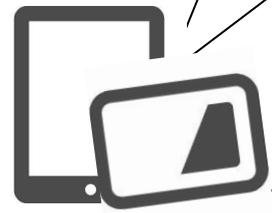


運賃2,000円



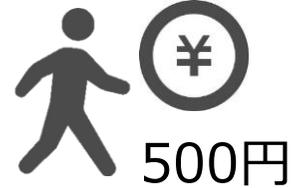
友達と2人で相野駅まで行きたい

<乗車時>
車載機にICカードをタッチ



<降車時>
車載機にICカードをタッチ

1人1,000円のところ、市から半額支援のため1人500円ずつ現金で支払い



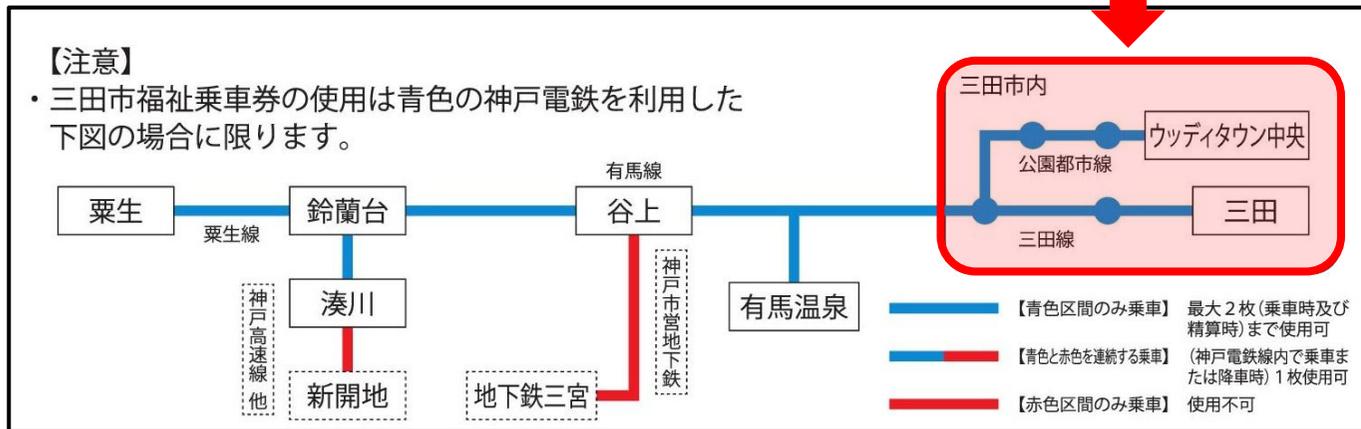
3. 高齢者運賃助成制度の見直し素案（鉄道）

企画乗車券制度

市内エリアを支援対象に



現在の対象エリア



- 指定された日数分の乗車券を購入
- 任意の日に1日ずつ乗車できる

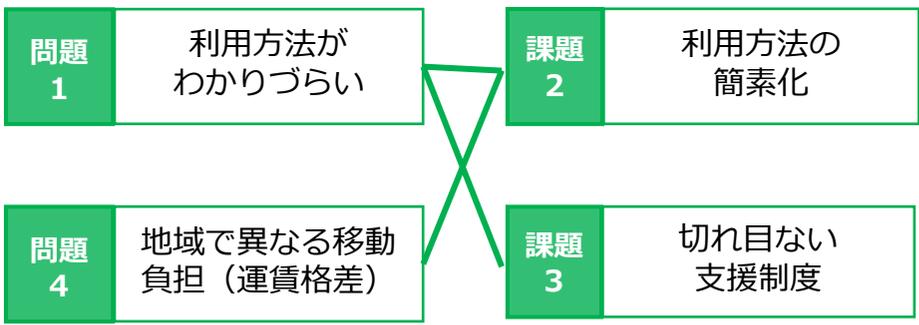
(特徴)

- 市内路線のみを対象
- 切符式からカード式へ

参考：神戸市シーパスイオン

5月30日販売開始

神鉄シーパスイオン	神鉄シーパスイオンplus	神鉄シーパスイオン北神
有効区間 神戸電鉄線全線 (湊川駅～新開地駅除く)	有効区間 神戸電鉄線全線+神戸高速線全線 (阪神神戸三宮駅も含む)	有効区間 神戸電鉄線全線+神戸市営地下鉄 (谷上駅～須賀前駅・谷上駅～みなと元町駅区間のみ)
1枚 3,700円	1枚 6,000円	1枚 6,500円
販売枚数 1人合計5枚まで購入可能(1枚でお好きな10日分乗り降り自由)	販売期間 2023.5.30～2024.3.31	販売期間 2023.5.30～2024.3.31
有効期間 2023.6.1～2024.5.31	販売場所 2023.5.30～2023.6.30……BELLST 鈴蘭台3階(6/14までは「すずらん広場」、6/15以降は「エスカレーター前」) 岡場駅、栄駅、湊川駅、谷上SHビル1階*	販売場所 2023.7.1～2024.3.31……鈴蘭台駅、岡場駅、湊川駅、谷上駅
	神鉄シーパスイオンplusのみ、阪神電車サービスセンター(阪神神戸三宮駅西改札口)*でも販売【2023.5.30～2024.3.31】	
	神鉄シーパスイオン北神のみ、地下鉄三宮駅定期券売所*でも販売【2023.7.1～2024.3.31】 ※裏面地図参照	
販売時間 9:00～17:00(※地下鉄三宮駅定期券売所のみ平日・土曜 7:30～19:30、日・祝 10:00～17:00)		
対象者 神戸市在住の70歳以上の方(1954年(昭和29年)3月31日までに生まれた方)		



3. 高齢者運賃助成制度の見直し素案



市内定額乗車制度

- 市内で乗降する場合は、定額で利用できる（正規運賃との差額は市が負担）

(特徴)

- ✓ 紙式乗車券からICカード型へ
- ✓ どの地域でも同じ負担額（1乗車200円～250円程度）

[選択制]



企画乗車券制度

- 指定した日数分の乗車券を購入
- 任意の日に1日ずつ乗車できる

(特徴)

- ✓ 市内路線のみを対象
- ✓ 切符式からカード式へ

[選択制]



相乗りタクシー制度

- 自宅からスーパーマーケットや病院等ドアtoドアで移動（目的地限定）
- 市内で乗降の場合、1乗車につき最大1,500円を支払う（正規運賃との差額は市が負担）
- 複数人での乗車を推奨

(特徴)

- ✓ バス便数が少ないエリアや鉄道が通っていないエリア（交通不便地）を対象
- ✓ マイナンバーカードの活用も視野に（利用実績把握の管理・利用回数制限）

[エリア限定希望者]

3. 高齢者運賃助成制度の見直し素案 概算費用

ランニングコスト

	現行 (R4)	見直し後
助成額	58,238千円	50,000千円
事務費 (郵送費・印刷費等)	3,053千円	2,500千円
計	61,291千円	52,500千円

イニシャルコスト

	金額
市管理システム改修費	10,000千円
事業者システム改修費等 (バス・鉄道・タクシー)	70,000千円
計	80,000千円

4. 市民意見交換会

日時 令和6年2月23日(金・祝) 10時00分から11時30分

場所 市役所本庁舎3階302会議室AB

対象 市内在住・在勤・在学の満18才以上の人

定員 30名（申込多数の場合は抽選）

内容 高齢者運賃助成制度の現状・見直し案について、グループに分かれて意見を伺う